

刊夕 日二月七

# 常警日新聞

定価 一部全紙一ヶ月五拾圓 郵務局  
 廣告料 五號十二字一行情五拾圓  
 日曜、祭日の翌日休刊  
 発行所 常警毎日新聞社  
 印刷所 常警毎日印刷株式会社

## 感情的な騒ぎ (二)

落付のない國民  
國 技 連

その時翁の饒別の言葉に「夫空腹なる時、他にゆきて一飯をたまはれ、予庭をはかんと云とも、決して一飯を振舞ふ者あるべからず空腹をこらへてまづ庭をはかば或は一飯にありつく事あるべし、是己を捨て人に隨ふの道にして百事行はれ難き時に立至るも行はれるべき道なり。一枚の銀損じたり、隣家に行きて銀をか

に銀は確實に借りられたのである。又それだけの事をすれば、隣の翁もその親切に感じて、今後銀に限らず何にても用立てるといふ利子まで副へた返事をするやうなものである。

先づ人は權利を要求する前に働くだけの事を働いた方が問題の解決はよくつくと思ふ。然るに今日の行き方はそれと逆で、先に權利を要求して、それに伴ふところの義務を十分に果さない爲めに双方の損失になることが少くない。勞働問題にしても尊徳翁のやうな氣持があれば、餘程その解決が容易で、双方の爲めに利益が多いやうに思はれる新聞を見ても種々の争議があるやうであるがどれもこれも自ら進んで働かうといふ氣持よりも如何に少く働いて多くのものを得ようかといふ氣持からスタートしてゐるやうである。尊徳翁のやうな氣持で、物事をやつて行けば、實際萬事差支へなきものであらう。

隣翁曰、銀に限らず何にても差支の事あらば遠慮なく申されよ、必用達べしと云へる事ありき。斯の如くすれば百事差支へなきものなり」と。この時、若し二宮青年が隣の翁の畑を耕し、なほ種を蒔いた後、銀を借りて使はふとしたならば、それが何時濟み、何時になつて借れるか分らない、然るに自分が代つて耕し、蒔いたればこそ、その日の内

人の説法に復讐の志は小にして益なく人道にあらざるの範を以てし、國を治め、萬民を安するの道の天理にして大なるの道理を以てす公始て此理を感じ、復讐の念を捨て、國を安んじ、民を救ふの道に心力を盡されたり。凡人といへども又同じ、此方より敵を打てば、彼よりも亦此恨を報ぜんとするのは必定なり。然る時は怨恨結んで解する時なし、互に復讐し、只恨を重ねるのみ。是則佛に所謂輪回にて永劫修羅道に落て人道を踏む事能はじ」と。昔から境を接して居る國は競走して戦争をし、互に勝敗があつた。勝つた方はそれがよいが、負けた方は残念だから復讐しようとする。そして又戦争が起る。今度は前に勝つた方が負ける。すると又復讐しやうとする。つまり駒ごつこで益々敵愾心が募るばかりである。これまでの世界の歴史は多く

は其の繰り返しであつた。その近代の著しい例はフランスとドイツである。それが歐洲大戦によつて勝敗があり兩國とも敵愾心を煽つてゐる。

## 文藝募集

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める川崎巡回文庫

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七

七月一日ヨリ開催中  
夏衣大賣出し  
斷然!! 全商品大提供  
平・三丁目  
三井吳服店  
電 二三八四番



●店員募集  
年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

吸入用酸素度 99%  
度量衡  
モノサシ  
マ  
ス  
ハカリ  
計量器  
體溫計  
寒暖計

●寫真材料一式販賣致シマス  
關内藥局  
電話四〇番

新 鯉節讀出

魚問屋  
店理代平命生本日大最優最  
榮 盛 賀 志  
(三一電)目丁四平

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める川崎巡回文庫  
電六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

月曜是非

明朗なる闘志

平町の早慶戦と稱せられる警中對平商の野球戦に於いて、端なくも誤審問題に...

両者が共に競技の厳正を期し、互ひの面目を堅持して、一步も譲らずとするの意圖にあるはよし、されど...

荷くも警中、平商兩者の戦ひはもつと『明朗なる闘志』に依つて處決さるる獨...

自の立場から、堂々たる精進振りを示すべきであり、飽迄も兄弟試合の境界を脱...

慘落に終始した

四倉市場閉場す

春蘭出廻り状況

空前の慘落ぶりに終始した四倉市場の春蘭取引高は白蘭出廻り二萬六千四百七十二...

去勢馬を屠殺

村大字黒田畑田實藏氏が駄馬として飼養してゐた八才栗毛の去勢馬は昨日石城...

夏井川軍勝つ 夏井川改修事務所對平土木監督所の野球戦は一日午後二時...

關東北の強豪

昨日奮戦激闘

庭球選手権大會振ふ

既報警城軟球協會主催關東北庭球選手権大會は昨日午前九時より警中コートに...

向ふに廻はし五對三の大接戦を行つて惜敗した善戦振りには觀衆を感嘆せしめた、決勝戦は東鐵日向堀地組が...

有段者紅白試合 鈴木師範に謝恩の剣道具 物凄い熱戦を展開

武徳會石城分會主催の郡下有段者紅白試合は昨日午後一時から平署演武場に於て...

涼味湧く 夏衣大賣出 三井の繁昌

平三丁目三井呉服店では昨日より涼味湧く中形ポイル...

日商 4-2 松本 堀池 勝 (中大) 日向 4-1 篠原 堀池 川隅

記者團又敗る 平日 刊記者俱樂部野球團は一日午後三時半から古河炭礦球...

丈夫な... 菊菱自轉車 菊菱自轉車、宮田自轉車...

涼しい飲物 例年通りに 平一丁目藤寅及び三丁目魚...

新鯉節の 値段大勉強 平四丁目魚問屋丸市屋では...

目下新鯉節を賣出してゐるが品物を吟味した上に値段も勉強してゐるので賣れ行きよく好評噴々

平町人事 結婚 二丁目二〇 大村ツルさん(二五)東京市江戸川區...

市原醫院 平町 田町 電話一四四番

木村外科醫院 平町六丁目橋際 電話九〇三番

平町堂の前(訓盲院の)千六百坪の埋立地を分割してお貸します

地貨 平町堂の前(訓盲院の)千六百坪の埋立地を分割してお貸します。一、區劃整然と分割してありますから一マス又は連續して適當に御相談に應じます。二、建築なさる方には御相談の上工費の半額位迄御融通申上ります。三、地代は場所により相違しますが最も安價に御便宜をお圖りします。右御希望の方は左に御照會を乞ふ。山田文一商店地所部 平町仲町通り(電話二六二番)

# ホシ後援會 設立を決議

## 老來の意氣壯者を凌ぐ 星一氏を迎へて

### ▽……チエーン大會盛況

「誕生の星製藥福島、茨城宮城三縣下チエーン大會」は昨日午前十時から平町藤田女學校で開催、金成上院議員、鈴木代議士、安島元代議士始め各チエーン代表、支部長等

### 四百餘名 出席、駒木

根平支部長の開會社本領暗誦の後銀髮齋老來の意氣壯者を凌ぐ星一氏滿場の拍手に迎へられて登壇、會社の誕生に就て一場の挨拶を述べて正午一旦休憩

書食再開 古市重役の激勵挨拶の後星氏再び起つて同氏畢生の大事業たる「國産キノ樹栽培と會社の方針」と題して二時間半に

午後四時「ホシの任務斷行歌」と聖壽萬歳を齊唱してこの信念と熱力に満ちた大會を終り午後四時から谷口樓に星氏誕生

## 奏任待遇の校長

### 郡下には十七名

郡下小學校長中今回文部省より發表された奏任官待遇者は江名小學校長降旗弘、植田校長鈴木佐忠、内郷第二校長小堀一郎の三氏と決定して郡下小學校には奏任待遇の校長が十名に達した

故櫻井氏遺子遺く 元磐女校長故櫻井賢之氏の遺族

## 來校者多數

### 第二保護者會

既報平第二小學校の保護者懇話會は昨日午前八時よ

り開かれ午前は自習參觀午後は懇親會を催したが本年は父兄の便宜を計つて日曜を選んだので來校者七百名の多數に達し盛況を見た

## 武器購入

### 資金調達協議

高久青年訓練所では来る十日午後三時より同村小學校に役員會を開き訓練生の募集及び武器購入に就いての資金調達を打合せると

## 縊首したルンペン

### 身元は判明したが

#### 依然として引取人がない

五月三十日内郷村高坂消防第六部詰所内で縊死したルンペンに就いてはその後半署で調査の結果元赤井村福

## 藥局放火は

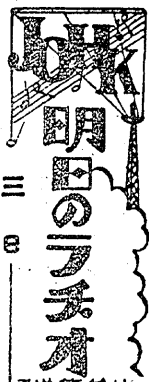
### 同人の仕業

尙同人は昨年未福島炭礦に坑夫として従業中坑内でトロの爲め足部傷害を負つて退職して加へてモルヒネ中毒のため會社から扶助料を貰つて生活してゐたが去る二月中に會社の態度が冷やかだとして同礦病院藥局に放火したことがある

## 素見客を

### 散々殴る

當時住所不定東京市生れ香具師石塚幾次郎(三)同中田



天 今晩も明日も南西の風晴曇半す

## 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
童話 形見の時計薄田清  
後六、二五 基礎佛語講座  
(二五)九山順太郎  
後七、三〇 講演「赤字財政時代」經濟學博士 土方成美  
後八、〇〇 清元貸浴衣  
汗雪清元正太夫外

## 明日の部

前六、三〇 基礎獨語講座

(三七)橋本忠夫  
前七、二〇 聖典講義 天  
前八、〇〇 母の講座  
「學齡期の子供の心理」關西學院教授 今田惠  
後八、〇五 掛合嘶 山達  
後九、〇〇 家庭婦人講座  
「婦人から見たる親子心中」河崎ナツ子  
後五、三五 講演「國土防空に就て」第二師團司令 部附 陸軍少將 山崎定義  
後六、〇〇 子供の時間

童話劇「黒兵衛さんの月見物」長谷山雛菊  
後六、二五 公民常講講座  
「公民生活の本義」東北帝大教授 廣濱嘉雄  
後七、三〇 講演「建武中興は何故に敗れたか」文學博士 平泉澄  
後八、〇〇 狂言忠太郎  
野村萬造外  
後八、三〇 長唄新曲 浦島村屋文左衛門外大勢  
後八、五〇 連續ラヂオドラマ「巖窟王」(第三回)市川八百藏外大勢

女給東京市小石川區水川町富田長乃(三)に西洋剃刀で斬り付け全治三週間の傷害を負し本日平區に於いて略式に依り罰金三十圓に  
△双葉郡富岡町字釜田自動車運轉手早乙女留吉(三)は去月十日同郡夜ノ森驛前但野甚藏附近でトラックを運轉進行中ハンドルを誤つて同家を破壊して逃走したので同く略式により料科五圓

## 平第一校生徒の

### ハモーンカバンド

#### 目下放課後に指導中

平第一小學校では目下高等科生の内から十餘名に放課後音楽室でハモーンカバンドの指導を行つて居るが將來は尋常科からも希望者を加へて小學生のハモーンカバンドを組織すべく計劃中であるが小學生のハモーンカバンドは現在縣下で白河校に在るのみである

## 裁判所より

△内郷村大字宮字金坂カフエーナイス事皆川俊之助長男俊泰(三)は五月六日同家

## 平職業紹介所報告

△回人を求める方  
△女中 十五、六才 尋卒

△事務員 二十五才 高卒  
△農夫 五十五才 高卒  
△土工 四十五才 尋卒

山崎合名會社 電話一〇番

美味! 芳醇!

宗正らひた

# 近斬立頭

(續前上段及上段)

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

—七一—

下女の餘計な忠義(一)  
「此間一寸旦那様の處までお届けしておきました、此處にゐる方が、江戸からお出でなすつたお武士で暫らく私共へ逗留してお在な

さるのでお嬢様は種々御本などを讀んでお在なざるだから私共と違つてお武家様の話が合ふかも知れねえ、どうかマアチヨイ、遊びに來てお呉んなせえ、お武家様此の方は向ふの白壁造りの名主の福住様のお嬢様でおみつ様と云はつしやうだ、夫からお附のお仲さんだ、私共と違つて、種々お話しして居なさるだから之から仲宜くしてお呉んなせえ」

「夫は、始めて御意を得ます、手前は中國浪人平川權六と申す者、何卒お見知り置きを願ひます」

「今日は御蔭様で大層な保養を致しましたとお伺ひ致しますが又平川様の方からお遊にお出で下さいませ、お嬢様が何か御馳走をなさいますから、ねえお嬢様……」

「叮嚀に挨拶をされて、おみつが權八を見ると驚いた今まで山の中にはかりぬて農夫や獵師の顔ばかり見てゐた娘が、始めて權八のやうな美男を見たのだから、ポーツとして気が遠くなるやうに思つた、挨拶もシドロモドロにて、權八の顔ばかり見てゐる、お仲と、女中が却々確かり者、巧

「さうだ、私も一度平川様を旦那様のお處へお近付きにお連れしやうと思つてゐるので、又その内に伺ひますよ」

「小母さん、お邪魔を致しました、左様なら」  
「お嬢様お氣をつけて行らつしやう」  
おみつはお仲を連れて歸つて行く、後で權八が「御主人却々美しい娘であるな」  
「エ、モウ名主様の一人娘



「さうだ、私も一度平川様を旦那様のお處へお近付きにお連れしやうと思つてゐるので、又その内に伺ひますよ」

「お仲や、お前はさういふけれども妾の方でどう思つても、平川様が妾のやうな者の處へお出になるのは嫌だと仰しやるかも知れないよ」

「さうだ、私も一度平川様を旦那様のお處へお近付きにお連れしやうと思つてゐるので、又その内に伺ひますよ」

「お仲や、お前はさういふけれども妾の方でどう思つても、平川様が妾のやうな者の處へお出になるのは嫌だと仰しやるかも知れないよ」

## 外科全般

特二内臓外科及び内、外、兩域疾患

醫學博士 渡部 義夫  
小兒科、内科 女 醫 渡部 幸子

## 渡部外科

入院 應需

診療午前八時ヨリ午後九時マデ

## 内科 小兒科 花柳病科 藤沼醫院

平町 紺屋町 電話五〇七番

店主	が	店員
を	運	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
食	堂	
喫	茶	
酒	場	

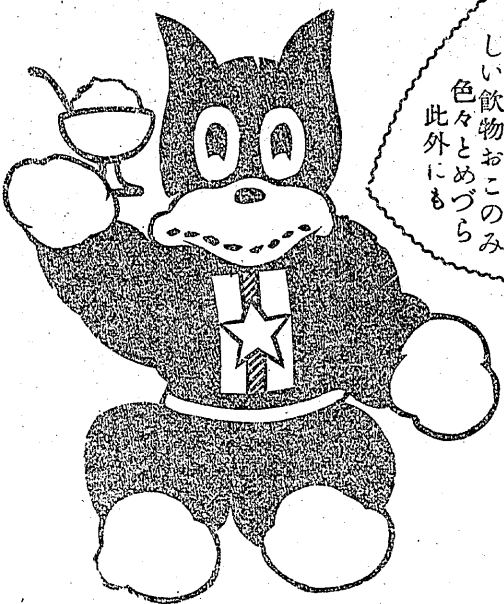
平・田町  
レストサロン  
電話三五二番

## 外科

門 專 科 線 光 X

## 上田外科醫院

平町南町 電話一二九番



次第澤山御座います  
しい飲物おこのみ  
色々とめづら  
此外にも

## 魚清食堂部

電話六三三番



## 阿部石炭商店

電話三七番

石炭  
コークス  
炭

毎度有難う御座います

今年も相變らず始めましたから御涼みがてら何卒御立寄り下さい。御待ちして居ります。

アイスクリーム アズキアイス  
ミルクセーキ ソーダ水 ミツ豆